

「農商工連携型地域中小企業応援ファンド」 第二号案件の概要

<スタートアップ応援型>

いわて農商工連携ファンド（仮称）

<概要>

- ・ ファンド規模：29.1億円（うち中小機構20億円）

<特徴>

- ・ 平成20年1月に策定した「いわて希望創造プラン」の重点施策である「食産業の展開」、「食料供給基地岩手の確立」を実現するため、新しいビジネスの展開や販路開拓に取り組む「食産業」を重点的に支援する。

とやま農商工連携ファンド（仮称）

<概要>

- ・ ファンド規模：30億円（うち中小機構20億円）

<特徴>

- ・ 新商品開発や販路開拓に取り組む助成対象者に対し、県、地域力連携拠点、農林水産団体等で構成するプロジェクトチームが、事業計画策定から商品企画、販路開拓まで総合的な支援を実施する。

鳥取県農商工連携促進ファンド（仮称）

<概要>

- ・ ファンド規模：25億円（うち中小機構20億円）

<特徴>

- ・ 豊かな農林水産物を活用し、「食のみやこ鳥取県」として優れた県産品を生み出し、県内外に打って出るため、売れる新商品・新サービスの開発や生産効率を向上させる生産システム・機械の開発等の取組を重点的に支援する。

長崎県農商工連携ファンド（仮称）

<概要>

- ・ ファンド規模：25億円（うち中小機構20億円）

<特徴>

- ・ 県の産業振興の課題である産業構造の多様化、離島をはじめとした条件不利地域の地域経済活性化を図るため、農林水産物の生産・加工分野、流通分野及び観光分野について重点的に、新商品や新技術の開発等の取組を支援する。

みやざき農商工連携応援ファンド（仮称）

<概要>

- ・ ファンド規模：25億円（うち中小機構20億円）

<特徴>

- ・ 豊富な農林水産資源を活用し、食品産業の高付加価値化、バイオテクノロジーの応用による健康・医療分野の新産業創出に資する新商品開発及び農林水産業の生産技術、生産システム等の開発の取組を重点的に支援する。

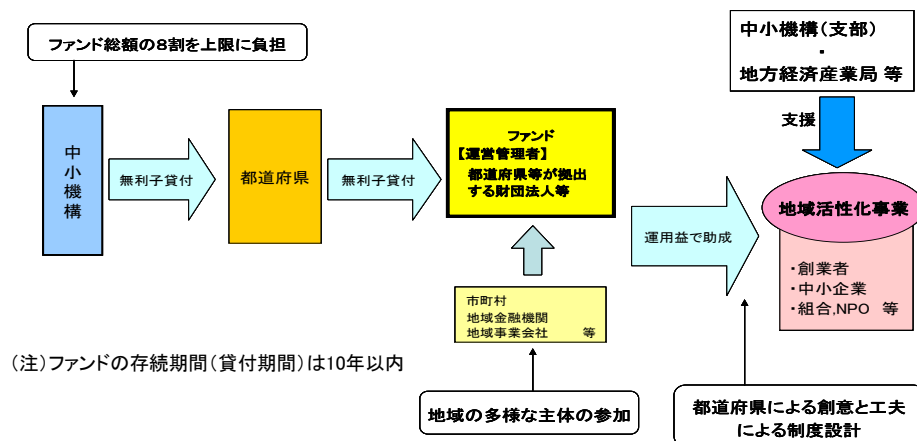
(参考) 地域中小企業応援ファンドのスキーム

スタート・アップ応援型

中小機構の融資機能を活用して都道府県等とファンドを組成
新たな事業の「種」の発掘を支援

- ・中小機構が都道府県に資金を貸付け、都道府県が中小機構からの貸付金と合わせてファンドに資金を貸付け、運用益により助成。
- ・助成内容は、全国画一的に制度を設計するのではなく、都道府県の特徴と強みを活かし、知恵と工夫を駆使して、都道府県が地域における具体的な支援内容を決定。

スタート・アップ応援型ファンドのスキーム



※スタート・アップ応援型の他に、中小機構の出資機能を活用し、組合形式のファンドを組成する「チャレンジ企業応援型」があります。